

| | | | | | |
|---|---|--------|---------------------------------|---------------|------|
| 日本工学院専門学校 | 開講年度 | 2020年度 | 科目名 | 広告デザイン実習1 | |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 開設学科 | グラフィックデザイン科 | コース名 | | 開設期 | 前期 |
| 対象年次 | 2年 | 科目区分 | 選択 | 時間数 | 60時間 |
| 単位数 | 2 単位 | | | 授業形態 | 実習 |
| 教科書/教材 | 必要な資料は、課題ごとに授業内にて配布、掲示する。 | | | | |
| 担当教員情報 | | | | | |
| 担当教員 | 山本佳子 | | 実務経験の有無・職種 | 有・グラフィックデザイナー | |
| 学習目的 | | | | | |
| ある商品を対象として、商品周りのデザインとそれを販売していくためのデザインのツールをひと通り制作体験します。それぞれの制作物の役割を理解したうえでデザインコンセプトやビジュアルを作っていきます。世の中に出回っている商品にも作り手の視点でデザインを見つめる習慣をつけます。クライアントの要望を反映するために客観的なデザインプロセスを構築できるようデザインしていきます。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 様々な制作物を同一のコンセプトをもとに一貫したデザイン展開ができるようになる。イラストレーターやフォトショップを目的に応じて使い分けられるようになる。デザイン案の段階で何種類もの案を出す習慣をつける。決定したデザイン案のクオリティを高めるために何度も繰り返し試作を行う習慣をつける。 | | | | | |
| | | | | | |
| 授業概要 | 課題となる商品のネーミング、商品ロゴ、パッケージ、SPツール、商品広告などが課題となります。 | | | | |
| 注意点 | 遅刻、欠席しないこと。課題を必ず提出すること。 授業中はメモをしっかりとること。わからないことを残したまま過ごさず、質問をしよう。 授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。 | | | | |
| 評価方法 | 種別 | 割合 | 備 考 | | |
| | プレゼン | 10% | 制作意図が明快であるか。表現の根拠としたポイントはどこか | | |
| | 課題完成度 | 60% | 提出課題完成度を総合的に評価する | | |
| | リサーチ | | | | |
| | 平常点 | 30% | 毎回授業での制作進行が適切かどうか、授業態度によって評価します | | |
| | | | | | |
| 授業計画（1回～15回） | | | | | |
| 回 | 授業内容 | | 各回の到達目標 | | |
| 1回 | 課題オリエンテーション | | 商品のネーミング | | |
| 2回 | 課題 ①ネーミング | | ネーミング決定 | | |
| 3回 | 課題 ②ロゴ | | サムネイル | | |
| 4回 | 課題 ②ロゴ | | ロゴタイプ制作 | | |
| 5回 | 課題 ②ロゴ③パッケージ | | ②プレゼンテーション ③パッケージデザインオリエンテーション | | |
| 6回 | 課題 ③パッケージ | | サムネイル | | |
| 7回 | 課題 ③パッケージ | | 制作 | | |
| 8回 | 課題 ③パッケージ④SPツール | | ③プレゼンテーション ④SPツールオリエンテーション | | |
| 9回 | 課題 ④SPツール | | サムネイル | | |
| 10回 | 課題 ④SPツール | | 制作 | | |
| 11回 | 課題 ④SPツール⑤商品広告 | | ④プレゼンテーション ⑤オリエンテーション | | |
| 12回 | 課題 ⑤商品広告 | | サムネイル | | |
| 13回 | 課題 ⑤商品広告 | | 制作 | | |
| 14回 | 課題 ⑤商品広告 | | プレゼンテーション | | |
| 15回 | まとめ | | まとめシート制作 | | |